

「想いは一つ、
——愛する人を守りたい。」

介護職が照らした、家族の愛の物語。

もう一歩

短編映画「もう一歩」

特別上映&トークイベント

公開からわずか1ヶ月で67万回再生を達成した話題の映画「もう一歩」。全国の介護職が監修に関わったこの映画の上映と”地域の現役介護職ら”によるトークセッションが融合した特別イベントがあなたの街で開催されます。大切な人を大切にしたい、そんな想いを持つ全ての方、必見です。

3月1日



守口市立図書館
4階円形ホール



入場無料

時間

14:00 開場 14:30 開演
16:00 終了

参加者による交流会や関連団体によるブース出展も実施予定！

KAIGO PRIDE FILMS

公式サイト ▶



STORY

父が少しずつ変わっていく。

その姿に揺れる家族。

在宅か、施設か——正解のない介護の選択に葛藤する日々。

やがて出会った介護職との時間が、

失われかけた“その人らしさ”を取り戻していく。

これは、いつか誰もが直面する人生の選択。

自分らしくあること。

家族であること。

その間に必要だった“もう一步”の物語。

人物相関図とあらすじ

もう一步



友人

長男(兄)



同居

田辺家

妻 (故人)

40年前に他界。



利用者

介護職



昭雄のケアを担当する介護職員。リーダー職として日々奮闘しながら、より良い介護を模索している。

あらすじ

栈橋を笑顔で歩く家族、田辺家。妻を早くに無くした父・昭雄と長男（兄）・浩介、長女（妹）・紗英の3人はどこにでもいる“普通”の家族だった。

10年後、昭雄が亡くなり葬儀後の整理をする紗英。浩介はもう農業の仕事に戻っている。そんな田辺家に昭雄のケアを担当していた介護施設職員の美咲が訪れる。

そこで語られるのは昭雄の老いに向き合った田辺家の葛藤。そして施設で過ごした昭雄の最期の在り方だった。

友人・浩介の誘いを受け共に農園を営む。家族の状況について相談に乗っている。

脱サラして友人と新たに農園を立ち上げたばかり。介護施設への入所を勧める。家族との確執ができて始めている。

中学生の娘を持つ専業主婦。週末を利用して遠方に住む父の介護に積極的に関わる。在宅での介護を望む。

Director's VOiCE - 製作陣コメント -



監督
マンジョット・ベディ

人は誰でも、最期まで自分らしく生きたいと願っています。大切な人にそう生きて欲しいと望んでいます。そして、静かに寄り添う人の存在が、その願いや希望にもう一度明かりを灯してくれる。そんな“介護職のカッコよさ”と“人が持つ力”をこの映画を通して描きました。ご覧になった方の人生が「もう一步」によって少しでも自分らしいものになることを願っています。



制作総指揮
小口 貴幸

この作品のコンセプトの一つが「介護職の声から生まれ、介護職が使える映画」であること。全国の現役介護職らに監修協力いただき、実際の介護の現場で撮影をして制作を進めました。特に大事にしたのが何を思い、何を感じ、何を信じているのかという目に見えない部分の介護職のリアル。より一層その部分を知ってもらうために介護職らのトークイベントを融合させて全国で展開しています。

Careworker's VOiCE - 現役介護職コメント -

- ・私たちは、あらゆる人のどんな一歩も応援したい。この映画は、そんな介護職の願いや魂が詰まった作品です。是非ご覧下さい!! (兵庫県在住)
- ・介護職はその人の輝きを一緒に探すお仕事。諦めず、最後の最後まで「もう一步」。今まで表に出る事なかった介護のリアルがここに詰まっています! (北海道在住)
- ・「もう一步」踏み出したからこそ見られる、素敵な物語があります。物語の展開と、介護職の専門性が結びつき、介護の無限の可能性を感じられる作品です。(山形県在住)

制作

一般社団法人 KAiGO PRiDE

東京都渋谷区桜丘町24-8 803

TEL : 03-6434-7104 MAIL : jimukyoku@kaigopride.jp

運営

本イベントの企画・運営には、主催法人の研修を修了し介護のしごとの魅力発信に取り組む現役介護職ら「KAiGO PRiDEアンバサダー」が主体的に参画しています。そのため各地域の介護職らが主催法人と共に連携してイベントを運営する体制である点についてご理解いただきますようお願い申し上げます。

補助：厚生労働省補助事業令和7年度介護のしごと魅力発信等事業